

令和5年度 長森西小学校 「 保護者・児童 学校評価アンケート 」 について

◎成果

◎全体的に、「とてもよい・だいたいよい」を合わせ、80%超の評価が多い。

◎保護者子ども共に、No.4,No.5,No.6,No.7,No.12は 90%超の高評価である。

確かな学力 No.1「授業が楽しい,わかりやすい」 子保

No.2「基礎学力が身につけている」 子保

心の教育 No.5「差別やいじめのない仲間づくり」 子保

No.6「仲間との活動で決まりを守り一緒に活動することが楽しい」 子保

学校と地域の連携

No.12「地域の方から教えてもらったり,見守ってもらったりしている」 子保

◎「なかよし」活動や,その関係性を生かした「なかよしフェスティバル」の計画運営,学級遊び等により「仲間と共に」の意識向上がなされた。道徳や仲間の良さ見つけ活動等,個の尊重や頑張り
を承認することの大切さを学び,,R4と比較して「心の教育」全項目において増加している。

◎心のアンケートや教育相談,タブレット活用など,子ども達の心に寄り添い変化に素早く対応できたこと,また人権週間・ひびきあい活動では R4 から取り組む全校職員からの啓発,児童会・委員会・ボランティアによる「あいさつ」にかかわる啓発・俳句 (R5 新規) を募集等放送で行うなど,自主的な動きが成果につながっている。

◎R4と比較して,タブレット活用による「個別最適(探求的)な学び」や仲間との「協働的学び」を通して,意欲的に学習へ取り組むことで,理解につながっている。

◎コロナの5類変更により参観方法の変更・協働活動の増加等の教育活動や子どもの様子を発信する機会が増えたこと,また,とぼら,さくらんぼ広場,放課後学びの部屋をはじめとして全学年において外部講師との授業や施設見学等を積極的に行ってきたことで,地域との関わりや子どもたちの学びの実感となった。

◇課題

◇子ども達の評価が 90%前後に対して,保護者の評価は 10%以上低い。

確かな力 No.3「自分で考えたり,調べたりして,課題解決をする。」

健康・安全 No.8「自分の良いところを知り目標をもって生活している」

◇保護者の評価が 90%超に対して,子ども達の評価は 10%以上低い。

学校と地域の連携

No.11「学校での出来事や様子あるいは通信などについて家の人とよく話題にしている。」

→学校・家庭において多くの経験(活動)の場,視野を広げられる情報の提供を増やし子どもとのコミュニケーションを増やす。子ども自身ができている(頑張っている)と捉えていることについて共有したり,子の良さを積極的に伝えたりしていく。保護者と子どもとイメージの共有化のために,姿や具体的行動を一緒に考える。子どもたち自身が,考え選択する機会の中で,子ども達の正しい認識を導き,それに基づいて思考・判断できる力を子ども達に身につけさせる必要がある。【選択からの実践】を尊重し,認め(感謝を伝え)子ども達の自己肯定感の向上へとつなげ,自己を大切にすること,挑戦する勇気や,粘り強さにつながっていくと考えられる。今後も,子どもと対話する時間を意識的に設けていただけるようお願いいたします。

・ぎふ MIRAI's【**リアルを通して生きる**】をつくる:リアルな人・もの・ことに多くかかわる場面を設けて,探求学習を進めていく【で,「生きる」を学び,自分の今や「生き方」について課題をもち,自己選択・自己決定して,未来に向けた広い視野や主体的に社会を生きる基礎の育成に,「チーム学校」で努めていきます。保護者と子どもとのギャップが埋まり,保護者が求める「夢(願い)や目標に向けて自分でやり切れる力」,「協働活動の中で,相手の思い(考え)を聴く・自分の思い(考え)を伝える中で課題解決につなげるコミュニケーション力」にもつながると考えます。

・長森西小学校いじめ防止基本方針に基づき,今後も学校と家庭・地域と共に,「かけがえのない大切な一人ひとり~誰もひとりぼっちにさせない~」姿勢で取り組んでいきます。対話を通して思いを伝えあうことにより,「相手を受容する・尊重する(安心)」「相手の頑張りやよさを認めあう(承認)」「困難や挑戦を支えあえる(支え)」を軸に,広く高い人権意識を育て,よりよい生き方につながるような教育を目指します。